

事務事業 No./名 称	■サービス部門 生涯-15 文化財保存・修理助成事業					ザイムスコード及び個別事業名			
	□支援部門					170	文化財保存・修理助成事業		
主管課	文化財課	関連課 鎌倉国宝館、世界遺産登録推進担当				1254	文化財保存・修理助成事業		
分野名	歴史環境								
目標 (目標値)	指定文化財等の適正な保存管理とその活用を図る。								
人口等の データ	データ区分	21年度	20年度	備 考					
	人 口	176,669人	176,484人	・各年4月1日 (住民基本台帳)					
	世 帯 数	78,131世帯	77,430世帯						
運営資源 状 況	決算値	45,448千円	47,921千円			指標と評価			
	(国・県)					指標	保存修理件数		
	(負担金等)								
	(一般財源)	45,448千円	47,921千円			評価	◎		
	人員配置数	1.0人	1.0人						
	人 件 費	9,626千円	9,497千円						
	協 働 の パートナー								
事務事業 運営経費	総事業費	55,074千円	57,418千円			20年度	7件	8件	
	市民1人当 りの経費	312円	325円			21年度	7件	10件	
	対象者1人 当りの経費					22年度	7件		
ベンチマー ク(県内外自 治体や民間 団体との比 較値)	団体名	横浜市	横須賀市	鎌倉市	小田原市	茅ヶ崎市	23年度	7件	
	国・県指定文化財数	160	26	283	30	11			
	市町村指定文化財数	141	70	290	108	29			
創意・工 夫・課題等 改善状況	課題・問題 点	(21年度事務事業を実施するうえでの課題・問題点は、どのようなことでしたか) 国・県・市は重要な文化財を指定文化財に指定し、その修理費用の一部をそれぞれが補助して文化財の保護・保存を図っている。指定文化財が増加するのに伴い修理要望も増加するが、厳しい財政状況の中では要望に応じきれず対応に苦慮している。国主導のもと国指定文化財の保存修理が行われる中で、市の指定文化財の保存修理に係る経費の確保が難しい状況である。							
	創意・工 夫・課題等 の改善点 21年度の 成果	(課題・問題点についてどのような創意工夫、改善をしましたか。また、どのような成果がありましたか) 国・県指定文化財及び市指定文化財の腐朽等の状況を把握し、計画的に修理が行えるよう国・県・所有者と協議している。							
	未解決の課 題・問題点	(21年度事務事業の取組において対応(解決)できなかったものはどのようなことですか) 厳しい財政状況から市指定文化財の保存修理が困難な状況である。							
	今後の方針 (対応・改 善)	(上記対応できなかった課題・問題点について今後どのように対応(改善)していきますか) 市指定文化財については、特に緊急性の有無に配慮して調査を行い、所有者と協議の上、計画的な保存修理を行う。							
一次評価(課長評価)					二次評価(部長評価)				
A:充実又は拡大 B:現状のまま継続 C:統合又は縮小 D:廃止又は休止 E:事業完了									
評価結果	改善の必要性	指定文化財を後世に伝えていくためにも継続して実施していく必要がある。 計画期間内であっても、他に緊急的に修理を必要とするような場合がでてくるため、必要に応じて計画を見直していく必要がある。			評価結果	改善の必要性	文化財は国民共有の財産であり、良好な状態で後世に伝えていかなければならない。また、文化財を公開・活用していくためにも保存修理を継続して実施していく必要がある。		
B	有				B	有			
課長名		永 井 正 憲			部名・部長名		植 松 芳 子		